

いろいろ火の里 
みかわ

ざわい



私たちが望む三川町
なの花ホール LED 化
RVパークの設置を
アメシロ対策は
町の課題を県へ
新しいコートで仲間づくり

中学生との議場懇談会
定例会・臨時会
一般質問
決算審査
各種会議
シリーズ⑤「がんばってます」
ゲートボール友の会

P 2～5
P 6
P 7～11
P 12～13
P 14～15
P 16

No.171
9月議会
2025.
10.15

三川町

8/29
(金)

中学生との 議場懇談会

内容を一部抜粋して
記事にしています。



を深めてもらうため、広聴活動の一環として、毎年まちづくりについて意見交換しました。
なこと」をテーマに中学生から意見を出してもらい、



草が生い茂る県道の歩道

若い人も行きたくなる店を

提言 イオン周辺は大変商業が賑わっているものの、イオンモール内の空きテナントが多く物足りないと感じます。若い人が行きたくなる店を増やしては。

佐久間議員 多くの若者が集まれるような施設の整備も重要であると理解しています。

イオンは民間の商業施設であり、町が直接経営には関わることのできない施設ではありますが、大変重要な観点だと思いますので今後も誘致に関して提言していきます。



歩きやすい道路に

提言 道路のどこぼこや、狭い歩道、草などが生えて通りづらい所がある。歩道を歩く時や自転車移動する際に通りづらく、危険を感じる事があるため、歩道を広げたり増やすことが必要では。

志田議員 町としては、優先順位を付けて改良、改修を行っています。県道についても危険箇所に関して、県側に要望し側溝の蓋がけなどできることから実施してもらっています。具体的な場所などを示してもらえば、県や町に働きかけていきます。



懇談後の
記念スナップ



(2～5ページまとめ 小野寺正樹)

私たちが望む



この企画は次世代のリーダー育成と議員の役割について理解開催しており、今回は三川中学校生徒会役員14人とより良い「三川町がさらにいい町になるには」「地元に戻るために必要多くの気づきを得ることができました。

観光客で賑わうまちに

提言 町内の花壇に花を植える活動を行うことで景観がよくなり「三川町はきれい」と感じられたら素晴らしいと思います。また特産物の開発にも力を入れ、観光客で賑わう町を作れればと思います。

小野寺議員 現在町内には、老人クラブなどで管理している花壇が多くあり通行する人に大変喜ばれています。生徒の皆さんも栽培に挑戦してみませんか。特産品の開発を含め共にアイデアを出し、三川町の魅力を発信できれば素敵な町になると考えます。



老人クラブにより管理されている花壇

情報発信による町の活性化を

提言 InstagramやXなどのSNSを活用しイベントなどの情報発信することにより三川町に興味をもってもらえるのでは。

佐竹議員 暮らしに欠かせない情報、イベント情報などは三川町公式のSNSでも発信しています。回数も多く、頻繁に更新されています。

若い人だけでなく、高齢者にもしつかり届くよう、SNSだけでなく広報誌、ホームページ、防災無線などあらゆる方法を活用しています。



働ける職場を



働く場所の充実を

提言 三川町内の働く場所が、自分の希望する職種や託児所の条件が整えば、地元定着とＵターン・Ｉターンの可能性が高まるのでは。

小林議員 仕事や勉強で習得した専門分野の知識そして技術・能力のスキルを生まれ育った故郷で存分に発揮できれば、町全体に良い影響を与え、どんな産業も活性化し、潤いをもたらすことでしよう。

企業の誘致に向け、みかわ産業団地を大きく広げる工事を進め、町外に就職した方々が地元に戻ればより元気な町になると思います。



気軽に使える居場所が欲しい

提言 友達同士で学習や気軽に話し合いができるスペースが欲しい。

鈴木（淳）議員 三川町公民館の図書室の隣に20席ほどの学習スペースがあり、またテオトルのロビーには「ワークスペース」が確保されています。

「学習スペース」については三川町公民館二階の会議室の転用も可能ですので、管理人へ申請してみてください。



工事が進む三川産業団地（青山地内）

議場懇談会を終えて



生徒会長

上野 心楼

どのようにして政策を実現させていくのか、今日はとても勉強になり、議場懇談会を通じ、地元について、より深く考えることができました。

議員の皆さまから答弁してもらったことをもとに、どのようなことが実現できるのかさらに深く考えていけるようにしたいと思います。

三川町民の一人として今後も、より住みよい三川町にするため考え行動をしていきたいと思っています。

学びを生かして



安心して遊べる場所を

提言 子どもが安全に遊べる大型公園や、アスレチックパークなどが出来れば、子どもたちの笑い声が聞こえる明るい町になるのでは。

土田議員 安全面にも配慮された公園やアスレチックがあれば、誰かに会える楽しみや、町民の方との交流も出来、そんな安らぎの場所があれば良いと思います。

また、町にはアスレ的な花やパルク赤川等運動が出来る施設もありますので、運動を通して健康で活気ある町になればと考えます。



町外への移動手段の充実を

提言 高齢者などの病院など医療機関へのデマンドタクシー利用や、高校への通学バスが確保できれば良いと思う。

鈴木（淳）議員 現在「デマンドタクシーでんでん号」での運行範囲については町内に限定されていますが、高齢者の皆様からも町外の医療機関へ通院できないものかと相談が寄せられています。

高校への通学バス運行も含め、バスの事業者や自治体間の調整など改善策を探求していきます。



整備された袖東公園

議員の感想



広報常任委員長

砂田 茂

子育てや教育に関することから高齢者福祉、また町の経済、環境、安全対策に関することまで多くのご提言をいただいた中で、私たちにも多くの気づきをもらいました。

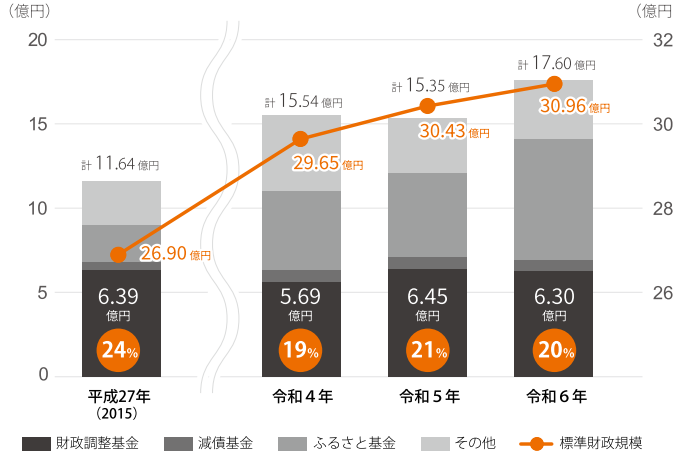
若い皆さんが、本当に町のことをよく見て、真剣に考えてくださっていることに感謝と大きな希望を感じました。

ここで皆さんからいただいた意見はしっかりと受け止めさせていただきます。

将来に備えて基金積立て

9月
定例会

現在の三川町の財政調整基金は、標準財政規模の20%程度である



補正予算

一般会計補正予算

2億3480万円を追加し、57億5007万9千円となりました。

第5回議会定例会は、9月5日から11日までの会期で開会しました。諸般報告3件の後、町長提案12件と議長発議1件が上程され可決されました。

一般質問は、夜間議会で8人の議員が町政全般について質問しました。

(主な内容と質疑)

●総務費

財政調整基金に1億458万2千円を計上。

基金残高は予算規模に対して十分に保たれているのか。

総務課長 一定の金額を積み立てて財政基盤の健全化に取り組んでいます。

※財政調整基金とは：景気の変動や災害などによる財源の不足に備えるために、積み立てておくお金。

●衛生費

65歳以上の人を対象とした新型コロナウイルス感染症予防接種委託料に468万円を計上。

問 予防接種を行う時期と想定接種率は。



袖東公園

健康福祉課長

10月以降を予定しており、想定接種率は昨年の実施率を踏まえて25%としています。

●土木費

袖東公園に新たな遊具を整備する事業に690万円を計上。

問 袖東公園に整備する理由は。

建設環境課長 町のシンボリックな子育て交流施設テオトルに隣接する公園に設置することでより多くの方に利用していただくことが期待されるためです。

条例改正

三川町議会議員及び三川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 議会選挙印刷費公費負担の4万円を31万円にする改正は正当なのか。また、今年2月の町議会議員選挙の印刷費に損害賠償が生じるのでは。

総務課長 任意設定していた「4万円」を国の水準に合わせたものです。町議会議員選挙の不利益の有無は把握していません。(賛成7人 反対1人)

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

庄司 睦子 (横川)



臨時会

第4回臨時会は、7月9日に開会しました。

町長提案「いろり火の花ホール照明器具LED化工事請負契約の締結について」1件を審議し可決されました。

(主な質疑)

問 工事期間中の営業や町の行事等への影響は。

企画調整課長 ホール以外の工事は営業が入っていない時間帯を考えており、ホールの工事は1月以降となるので支障は少ないと考えています。





町政を問う

9月定例会

夜間議会



議会ホームページは
こちらから
(音声配信中)

四番 土田市子

一般質問とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

9月5日に8人の議員が以下の項目について質問しました。
●の内容を掲載しています。

小野寺 正樹 議員 (8ページ)

- 暑さを逆手に収量増加策を
- 通学路の安全対策を

砂田 茂 議員 (8ページ)

- 子ども版「防衛白書」の扱いは

土田 市子 議員 (9ページ)

- 福祉事業計画の見直しを

鈴木 淳士 議員 (9ページ)

- デマンドを市内循環バスに接続を
- 両田川橋の架け替え事業について

志田 徳久 議員 (10ページ)

- 災害時の対策は
- 児童・生徒の教育環境づくりについて

佐久間 千佳 議員 (10ページ)

- RVパークの設置を

佐竹 優子 議員 (11ページ)

- 妊産婦健診・産後ケアの支援拡充を

小林 茂吉 議員 (11ページ)

- 小規模校時代へ対処せよ
- 民生・児童委員について

(7) 11ページまとめ 砂田 茂



おの であ まさ き
小野寺 正樹 議員

暑さを逆手に収量増加策を

町長 農協等と連携しながら対応

問 全国では暑さに強い米の品種や、米の「再生二期作」などの取り組みが進み、地域農業では今後の生産体系に不安を抱く声を耳にしますが、今後の乾田直播への誘導策は。

町長 本町では「瑞穂の郷づくり事業」において、水稻の経営規模の拡大や生産コストの削減、更にはこだわりの米作りにつながる機械導入に対して支援を行っております。乾田直播についても意向調査を実施しニーズの把握に努めます。

問 新品種「ゆきまんてん」の誘導策は。

町長 夏場の高温に強く、背白・腹白などといった高温障害が出にくいのが特徴とされ、粒が大きく、しつかりとした食感があり、白さや味の良さも高く評価され、従来の「はえぬき」と比べて、収量が約1割多いことも大きな魅力だと言われています。



新品種「ゆきまんてん」の議員視察調査

今後の作付け誘導策としては、県が「水稻新品種導入検討委員会」を立上げ、「ゆきまんてん」の普及や販売戦略等も含めた検討を行っていき、引き続き、県の動向を注視しながら、農協等と連携しながら対応します。

※切り株から発生する新芽を育て収穫する技術

子ども版「防衛白書」の扱いは

教育長 児童への閲覧は行っていない



すな だ いげる
砂田 茂 議員

問 防衛省が配布した子ども版「防衛白書」への対応は。

教育長 町内3小学校のうち2つの小学校に1部ずつ郵送され、どちらの学校も職員室等で保管しており児童への閲覧は行っていないです。

問 子ども版「防衛白書」の内容の受け止めは。

教育長 日本は、戦後一貫して平和国家として外交関係の深化、経済的な結びつき、国際協調軍縮・兵器不拡散など様々なことで安全保障を確保してきたことから、防衛力の必要性を強調していると思えらるような内容は、子どもたちに誤った印象を与える可能性があります。

問 教科書のほかに、紙芝居や音楽、演劇なども平和教育に取り入れては。

教育長 子どもたちの感性に訴えかけて、理解を深めることが出来ると思います。

提案は校長会にも伝えたいと思います。



防衛省が全国約2400の小学校に配布した子ども版「防衛白書」が本町の小学校にも



つちだ いちこ
土田 市子 議員

福祉事業計画の見直しを

町長 支え合いの仕組み作りを目指す

問 毎年同じようなプログラムで開催されている地域の支え合い活動を始めたい人のための「担い手養成講座」の成果が見えてこないため、計画の見直しをするべきでは。

町長 地域の支え合い活動の一旦を担っていただくことを目的として実施しているもので、住民の誰もが、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるために、取り組みに興味関心のある方から活動の基礎を身に付けていただき、実践者が増え、町全体に住民主体の



住み慣れた地域で
最後まで自分らしく

支え合いの仕組みづくりを広げていくことを目指しています。

問 アイデア次第ではやりがいのある事業展開ができるのでは。

健康福祉課長 これまで視察研修や町内会支援として地域の支え合いを考えるワークショップを実施しましたが数人の参加にとどまり、ボランティアを立ち上げ、活動して頂くところまでは至っていない状況です。

今年度は、山形県生涯学習センター実施の地域支え合い講座の研修を予定しております。



すずき じゅんし
鈴木 淳士 議員

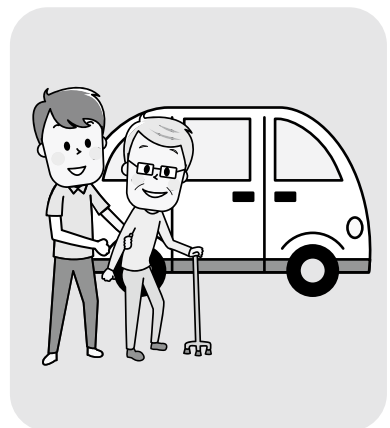
デマンドを市内循環バスに接続を

町長 交通事業者や両市の理解を求めたい

問 令和2年の法改正によって「地域公共交通計画」の策定が努力義務化され、今年から3年間で「交通空白解消集中対策期間」と位置付けられている今こそ、本町の改善策を進める絶好の機会では。

町長 県と全市町村が連携して「山形県地域公共交通計画」を策定し、その方針に基づき見直しに取り組んでいます。本町においては鶴岡酒田間の路線バスが運行していることから、「交通空白地帯」には該当していないところです。

問 その路線バスは、日中になると3時



改善策について協議が始まる
地域交通政策

間も運行されない時間帯があることから、「交通空白」と同じとの苦情があります。

せめて鶴岡市や酒田市の市内循環バスの乗り場までデマンドタクシーを運行できるよう、バス会社や鶴岡市、酒田市と協議できないものか。

町長 両市内循環バスとの接続に関する提案については十分理解できるものであり、私も同様に問題点を理解しています。

今後は、鶴岡市、酒田市から理解と協力を求める方向で取り組みを進めたいと考えています。



しだ たくひさ 志田 徳久 議員

災害時の対策は

町長 情報提供や避難支援に努める

問 災害には地震・水害等がありますが、安全対策は。

町長 地震では事前の備えが重要で、建物の耐震診断や改修、防災教育を行うとともに自主防災組織の活動を支援しています。

水害では、国が豪雨対策で定期的に河道掘削工事を実施しています。

町では、事前対策としてハザードマップを作成し、町内全世帯に配布している他、速やかに避難所の安全性を確認したうえで、避難指示等の情報を発表します。

問 避難所では、新型コロナウイルスやインフルエンザ感染者を隔離する対策は出来ているのか。

危機管理室 室長 今後、避難所となる各学校と協議します。

問 災害にあった場合、復旧作業に欠かさない家具等の「災害ごみ」の集積場の確保は。



昨年7月末の水害

建設環境課 課長 町民グラウンドを指定していますが、足りない場合は、他の公共施設の土地を予定しております。

問 集積場が、長期間になると悪臭や火災も心配されますがその対応は。

建設環境課 課長 災害ごみの適正な分別、集積・搬出により防止していくこととしています。町独自の搬出は困難ですので、県が業者と災害協定を結んでいるので活用していきたいと考えています。

R V パークの設置を

町長 前向きに検討する



さくま ちか 佐久間 千佳 議員

問 宿泊施設が限られている中、キャンピングカーや車中泊者のための施設である「RVパーク」を道の駅庄内みかわやパルク赤川周辺に整備することで、交流人口の増加につながるのでは。

町長 キャンピングカー等を利用した車中泊は新たな観光スタイルとして近年増加傾向にあり、交流人口の増加へつながると認識しています。運営管理や安全対策、設置位置を考慮し、前向きに検討します。

問 安全面や防犯力強化の観点から、センサー付きカメラを施設周辺に設置する考えは。



新たな賑わいの創造を

企画調整課 課長 センサー付きカメラの防犯抑止効果が明確ではないので、導入は考えていません。

問 いろいろ火の里施設全体の活性化や新たな観光資源の掘り起こし、マンパワーの充実に資する地域おこし協力隊の導入の考えは。

企画調整課 課長 いろいろ火の里周辺は人気のある施設と考えます。この環境を有効活用するために、賑わいづくりに主眼を置いた地域おこし協力隊の募集を前向きに検討します。

※RVパーク：キャンピングカー等の車中泊者が『快適に安心して車中泊が出来る場所』を提供するために、日本RV協会が定めた条件を満たし、認定された車中泊スペース。



さ たけ ゆう こ
佐竹 優子 議員

妊産婦健診・産後ケアの支援拡充を

町長 関係機関と連携し、支援を充実する



「産後うつ」は
産婦の10～15%程度、
早期の段階での支援が必要。

問

妊産婦健診費用の
個人負担の軽減を
図る考えは。

町長

補助は県医師会へ
の委託料として支
払われているもので、県
内全市町村統一の金額と
なっています。周辺自治
体の動向、町民の声を踏
まえ支援の在り方を検討
します。

問

産後うつ予防、妊
産婦メンタルヘル
スケアの支援状況は。

町長

妊娠届出時の面談
や教室、産後の新
生児訪問時、乳児健診の
際などに保健師が妊産婦
の心身の状態を把握し、
支援が必要と判断された
方には継続訪問や電話か
けなどを実施しています。
必要に応じて産後ケア

事業への働きかけや、精
神科等の医療機関を受診
するような調整を行って
います。

問

町からの子育て情
報の発信や、家族
間での母子保健に対する
理解を深めるためにも母
子手帳アプリが有効だと
考えますが、導入すべき
では。

健康福祉
課 健康福祉
長

すでに導入してい
る周辺自治体から
情報をいただきながら、
検討を行っています。時
期については国のPMH
接続の整備など動向を注
視しながら適切なタイミ
ングを計っていききたいと
思います。

※PMH接続：住民・自治体・
医療機関をつなぎ母子保健情
報を迅速に共有するための情
報連携基盤。

小規模校時代へ対処せよ

教育長 地域に親しまれる学校にする



こばやし しげよし
小林 茂吉 議員



適正規模の学習

問

本町の3つの小学
校は小規模校であ
り、数年後は、「複式学
級校」となる可能性があ
ります。各小学校が連携
を図りスケールメリット
を活かし、人的・物的資
源を相互に活用しながら
多様な学びを保証する
「学校間連携型学校経営
構想」を掲げ、加速度的
に進む小規模校時代に対
処すべきでは。

教育長

「学校間連携型学
校経営構想」は、
人的・物的資源を各校で
共有して授業を進めたり、
合同で行事等を行うこと

ができ、児童が多様な学
びを経験することにつな
がります。

互いの学校文化を尊重
しながら新たな教育の形
を創出することにも寄与
し、非常に有意義な手法
の一つであると考えます。

問

児童の健やかな成
長を育み、地域コ
ミュニティの連帯を生み
出す「地域の学校」はど
うあるべきか。

教育長

児童一人ひとりの
社会性や協調性を
育む上で、『集団の中で
育つ』ということも学校
の役割であり、具体的に
地域の実情や保護者の
方々の思い、児童の生活
環境などを町民の皆さん
と率直に話し合い、地域
全体で「子どもを育てる」
という視点を共有すべき
と考えます。

の2回が有効 し“共助”を支援

令和6年度
決算審査 特別委員会
(9月9日～10日)

町民生活に関わる令和6年度の町の予算の執行状況について、町当局の考え方も含め、各分野における「お金の使い方」を質問しました。

交通安全対策特別交付金

問 交通違反の反則金を原資として、町の人口・交通事故件数・道路延長を基準に歳入される交通安全対策特別交付金が予算より減額されましたがその要因は。

総務課長 算定方法の変更の情報が入っていませんので把握できていません。

農業委員会費

問 河川敷を含む農地で、管理がいき届かない農地が見受けられ、アメシロ被害などが拡大しているが、農地パトロールを含む今後の対応策は。

農業委員会会長 農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地パトロールを実施しています。町民の安全・安心の観点から引き続き農業者に対して適正利用と指導助言を行っていきます。

環境保全費

問 アメシロ防除に関する具体的対策は。
建設環境課長 防除機を3台に増やし、各町内会に貸し出ししています。
春とお盆過ぎの年2回の防除が効果的です。



農地パトロールのようす

農業振興費

問 学校給食での三川産野菜の使用率を上げる考えは。

教育課長 令和6年度の使用率は22・5%となっています。生産者やJ.Aからの協力の下に、地元食材の特性を生かした献立を作成しており、引き続き継続していきます。

消費者行政推進費

問 巧妙化する特殊詐欺に対する注意喚起策は。
危機管理室長 コミュニティ活動支援事業なども活用して啓発活動に取り組みます。

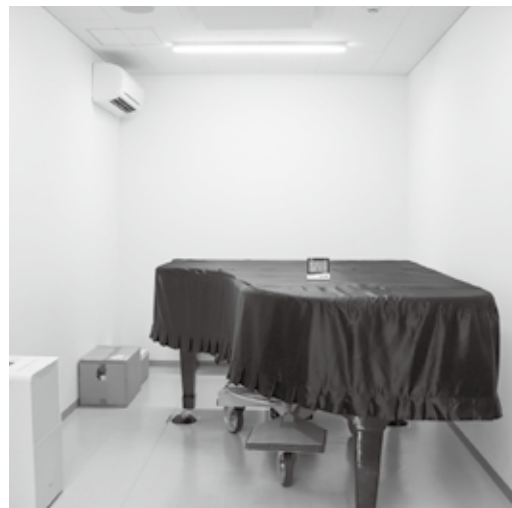
社会福祉総務費

問 民生児童委員の活動状況の中で、証明事務23件は、現行の民生委員法および児童福祉法に示されている職務と合致しているのか。
健康福祉課長 民生委員会制度に規定されている

公民館費

活動ですが、現代に即しているかは必ずしも限らない職種もあると思いますので、内容を精査していきます。

問 公民館図書購入冊数295冊、廃棄数0冊であり毎年蔵書が増え、管理や整理が行き届かないのでは。司書配置の考えは。
教育課長 廃棄する本がないのは、職員が修理・保全を行い管理しているためです。三川町公民館の図書館は、図書室とな



テオトルのピアノ庫

子育て交流施設費

っているので司書の配置は考えていません。

問 子育て交流施設のピアノ庫のエアコンは自動調整なのか手動なのか。また、その修繕要因は。
教育課長補佐 24時間フル稼働で湿度の調整は手動です。今回は基盤が壊れました。
問 ピアノ庫のエアコンの故障が多い原因は。
教育課長 一般家庭用のエアコンで、24時間稼働のためと考えます。

アメリ口防除は春とお盆過ぎ 防除機3台を貸し出

夜間議会を傍聴して（傍聴人16人）

- ◎夜間に議会開催は…
 - ・良い 4人 ・必要ない 0人
- ◎夜間議会は一般質問のみだが…
 - ・良い 2人 ・補正予算も 1人 ・わからない 1人
- ◎夜間議会は何で知った…
 - ・町広報 4人 ・議会チラシ 1人
 - ・議員から聞いた他 0人
- ◎一般質問の音声配信を聞いたことは…
 - ・ある 2人
 - ・知っているが聴いたことがない 2人
 - ・音声配信を知らない 0人
- ◎議会広報誌を読んだことは…
 - ・毎号読んでいる 4人
- ◎ご意見をお聞かせください。
 - ・一般質問の休憩時間に BGM を流しては。（日本で初めての試み!!）
 - ・初めてですが、緊張しました。



国民健康保険特別会計

問 特定健診の向上や健康づくり事業に対するインセンティブに係る保険者努力支援分の特別交付金が前年度比較で約300万円程減額になった要因は何か。また、納付金の今後の動向は。

町民課長 令和5年度に策定した国民健康保険保

健事業実施計画（データヘルス計画）の糖尿病に関する委託料の減額です。令和11年を用途に各市民町の納付金にそれぞれの医療費水準を反映させない納付金ベースでの統一と令和8年度から段階的に医療保険料と合わせて所得に応じた「子ども子育て支援金」の拠出が検討されています。

読者の窓

議会広報誌のよく読むページや気になる取り組みはありますか？

まんべんなく読ませて頂いています。
内容が豊富で読み応えがあります。

議員の質問の意図や議論の内容が伝わる内容の記事になっていましたか。また、分かりづらい記事等はありませんか？

身近な質問が多く、住民に寄り添った議員の意図も十分感じとれます。とてもわかりやすいです。

より読みやすい、手にとりやすい広報誌にするためにはどのような取り組みが良いかアドバイスをお聞かせください。

活字の大きさ、写真、カット等、バランスが良くとても読みやすい広報誌になっていると思います。

今後、議会広報誌に取り上げた方が良いと思われる事項があればお聞かせください。

ある講座で、データ解析した研究で「社会とのつながりは長寿に強く影響する」と聞きました。町や町内会でも多くの集いの場があります。広報等で繰り返し知らせしてほしい。

議会への要望等があればお聞かせください。
新しい議員が加わり、これからの議会だよりが楽しみです。



鈴木 良子さん
(猪子)



「にこにこカフェ」のようす

介護保険特別会計

問 百歳体操など介護予防の教室には男性の参加率が低いとの声が寄せられています。他の団体と連携し、参加しやすい企画を取り入れる等の考えは。

健康福祉課長 男性の参

加率が低いことは大きな課題であると考えています。集まりに行き辛いなど個々の状況把握に努めながら啓発を行い、参加したいと思えるよう企画することが大事であると思いますので、様々な組織との連携について考えていきたいと思っています。

町の課題を 県に伝える

地域交通 ・ 若者定着 ・ 両田川橋 ・ 農業

県議会議員・庄内総合支庁幹部職員との懇談会

7月25日「なの花ホール」会議室
において県議会議員・庄内総合支庁
幹部職員と懇談を行いました。
町の課題や現状を伝え、県の取り
組みや考えを伺い、有意義な機会と
なりました。

出席者

山形県議会議員 田澤 伸一氏

(庄内総合支庁)

総務企画部長 黒木 幸治氏

保健福祉環境部長 吉田 正幸氏

産業経済部長 安藤 詠子氏

建設部長 小林 雅史氏



架け替えに向けて前進した両田川橋

懇談のテーマ

① 地域公共交通会議と

公共ライドシェアの確立について

② 庄内地域の若者の定着と、

雇用の創出について

③ 両田川橋架け替え

(町としての準備の進め方、住民

意見の集約、県と町の役割分担)

について

④ 新しい米の品種

(今後の作付けバランス、生産の

目安の算出方法について)

⑤ カラス被害について

出羽商工会三川支部との研修会

講師：公益社団法人日本農業法人協会会長

齋藤 一志氏

講演「これからのコメ相場

―コメ増産に転換―」

9月26日、出羽商工会三川支部役員・総代と
の研修会及び懇談会が開催されました。

研修会では各メディアに引っ張りだこの齋藤
一志氏を講師に迎え、米の価格急騰や、今後の
農業振興についてご講演いただきました。

米の受給バランス、持続可能な農業に向けた
取り組みなど幅広く、とても貴重なお話を伺う
ことができました。今後の政策提言に繋げてい
きたいと感じました。



出羽商工会三川支部の役員の方々と懇談
会では、クーポン券事業の報告や、産業振興に
ついての意見交換をしました。

遊佐町・庄内町・三川町の 3 町合同の議員研修会

7 月 31 日 遊佐町 鳥海温泉「遊楽里」にて

NPO 法人 酒田港女みなと会議 理事長 加藤 明子氏 講演
「現代の北前船クルーズ船が拓く庄内の未来」



クルーズ船寄港とおもてなし

酒田港には多くの大型クルーズ船が寄港しています。乗客の人数や国籍、買い物ニーズなど、事前情報の収集が地元でのおもてなし準備に欠かせないと加藤氏は指摘しました。

広域的な観光戦略の必要性

観光客向けのオプショナルツアーは、酒田市に限らず庄内全体で戦略的に考えることが重要。食や遊びに加え、歴史や文化のストーリーを体験できる企画づくりには女性の視点が生かされていると感じました。

三川町への具体的提案

観光資源の乏しい本町に関しては、クルーズ船のクルーを対象にショッピングモールや温泉へ案内する企画を提案いただきました。

酒田港の役割と地域連携

クルーズ船は人・文化・経済を運ぶ「現代の北前船」。酒田港の役割を最大化するためには、行政・民間・地域が連携して取り組むことが必要だと加藤氏は強調しました。

庄内地域2市3町合同の 議員研修会

8 月 4 日 酒田市 ル・ポットフー「ラルジュ」にて



地域医療連携推進法人 日本海ヘルスケアネット
代表理事 栗谷 義樹氏 講演

「地域医療の今後～持続性と課題について」

庄内地域の14法人・団体が参画する 「日本海ヘルスケアネット」

栗谷氏によれば、立ち上げから現在まで、連携の進め方はいくつかのポイントがあるとのことでした。

医療連携のメリット

医療機能を分担・連携することで、人材の活用や育成、経営の効率化・安定化が可能になります。いわば非営利の持株会社のような制度だと紹介されました。

地域医療の課題

庄内では、かかりつけ医の高齢化が進み、地域医療の持続性が大きな課題です。人口減少により医療需要は既にピークアウトしており、将来的には医療機関や介護施設の経営破綻が予測されるため、広域的な連携が不可欠だと指摘されました。

成功事例としての評価

日本海ヘルスケアネットは全国的にも成功事例とされており、医療に限らず他分野でも、こうした枠組みが必要な時代に入り、今回の講演は連携のプロセスや考え方を学ぶ貴重な機会となりました。

がんばってます

ゲートボール友の会

試合のような楽しい練習で仲間づくり



私たち「ゲートボール友の会」は、毎週火曜日と土曜日、アスレな花で練習を重ねています。この競技は5人ずつ2チームで10個のボールを30分の試合時間の中で打ち合うという、技術と頭脳を使いながら戦うゲームです。

コート内には3本のゲートが立ち、通過するごとに1得点。また、ゴールボールに当たると2得点の計5得点となり、5人全員がゴールすればパーフェクトゲーム（25得点）となります。味方のボールに当たって有利な位置に戻したり、相手のボールをコートの外へ弾き出したりと、作戦を考えつつお互いを思いやりながら、味方のボールをつないでより高い得点を狙うゲームです。

各試合の主将や監督がゲームを組み立てるので、その指示通りに5人が力を合わせて勝利することができ

れば、喜びは5倍に膨れ上がります。

全世代向けの楽しい競技

「ゲートボール」は高齢者向けと思われがちですが、全国的には小・中学生や高校生、社会人チームなどの大会もあり、6歳から百歳までのプレーヤーが頑張っています。

このような中、三川チームは65歳以上が出場できる2016年全国大会では第8位に。2024年大会では女子チームが11位、他市町村との混合男子チームは準優勝することができました。

いまは、新しくなったアスレな花の専用コートに集まり、健康に気を配りながら日々の練習に励み、「生涯スポーツ」として楽しんでいます。

ゲートボール友の会

代表 宇野 政子



表紙の写真



三川中学校運動会

(写真) 佐竹 優子

編集室

「実りの秋」から順調に農作業が進み、いまは切り株に緑が広がるという特異な風景に変わってしまいました。

それにしましても、今年の夏の暑さには悲喜交々のような感じです。まずは、順調に成長してくれた稲のおかげで、庄内平野のお米の収量も伸びて喜ばしい限りです。

それと同時に、我が家の裏の畑では、稲に負けじと草丈もグングン伸びたことから、何日も草刈り機を振り回し汗を流した「ひと夏」でした。いまだに半袖が丁度良い日もありますが、風に揺れる秋桜や彼岸花を見つけては、移り行く季節を感じています。

鈴木 淳士

発行責任者

議長 議長 町野 昌弘

編集 広報常任委員会

委員長 砂田 茂

副委員長 鈴木 重行

委員 鈴木 淳士

委員 小野寺正樹

委員 土田 市子

委員 佐竹 優子